会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和元年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」Ⅰ．教職員の資質能力向上の推進　（ⅱ）教職員研修プログラムの構築事業 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第3回事業推進委員会 |
| 開催日時 | 令和元年11月23日（土）10:00～12:00 |
| 場所 | 国際電子ビジネス専門学校 |
| 出席者 | 1.委員：大城圭永、加藤猛、泉田優、高岡信吾2.請負業者：飯塚正成 |
| 議題等 | 1.ICT活用教員研修WG・10月24・25日に新潟において講座を実施した。・事前学習についての若干の変更やIDのカリキュラムの比重を減らすことで、コンテンツ制作の時間を多くとることが出来た。・コンテンツの振り返りを通じ、IDの観点から確実に自身のコンテンツをグレードアップすることが確認できた。・教育プログラムとしては、これで完成したと確信してはいるものの、こうした学習は継続が重要であり、学校内での教育体制の整備を望む。・11月7・8日でICT活用教員研修担当教員研修を実施した。・今年度の状況で完全にプログラムが完成することは難しかった。・資料や指示文書について内容を確認し、改善策をする必要がある。・ワークグループで行った、受講者のコメントへの対応は、参考テキストなどを有効に活用し、視野を広げられるように誘導することが重要であることを確認した。・「ICT活用研修」の主眼が技術指導ではなく、インストラクショナルデザインの観点にたっていることの利点について受講者に伝えていく必要がある。・講座運営に際し、日々開発されるあたらしいツール（グーグルスプレッドシートやYouTubeのリンク機能など）を利用したことによる参加教員の気づきなど副次的なメリットを確認し、研修の中でどのように紹介活用するか検討の余地がある。2.学習評価研修WG　・11月22日に学習評価研修応用編の研修を実施した。　・協力いただいたKBC学園は、グループ学習にも慣れており、大変実施しやすい研修であり、一定の成果が出たことを確認した。　・第2部のパート等では、非認知能力と認知能力との違いの理解の点で、今後内容を変更していくことが必要。　・今回は、ワークグループ構成を学科ごとで実施したために、成功した事例がある。　・公務員学科等の学科区分については、研修プログラムを調整する必要がある。　・昨日、終了したばかりなので、アンケート等の結果を見ながら内容を修正し、12月24日の山口で実施予定の講座については、修正したモデルで実施する。 |

以上